

滋賀県への2025年度政策・制度要求と提言



連合滋賀は結成以来、毎年、滋賀県に対し政策制度要求と提言の取り組みを行っています。本年も8月5日(月)に滋賀県に対し要求書の提出を行い、滋賀県をとりまく課題について議論を行いました。

部局協議(10月15~17日)

3日間にわたり、各部局と以下の滋賀県の施策・取組の様々な内容について協議を行いました。

部局名	実際に協議した内容
知事公室	●災害対応・対策の見直し ●県民の自助・共助意識の向上 ●消防団の成り手不足 等
総合企画部	●人口減少 ●北部振興 ●人権施策 ●外国人労働者、居住者支援・対応、共生 ●地域コミュニティの形成 等
農林水産部	●環境こだわり農業 ●米の販路拡大、適正価格 ●農業後継者・従事者 ●獣害対策 等
教育委員会	●インクルーシブ教育 ●外国籍の子ども達への支援 ●教職員の働き方改革 ●人員確保 ●労働者教育 等
商工観光労働部	●中小企業支援(労務費の価格転嫁・人材確保・カーボンニュートラルなどの支援) ●中小企業活性化支援策の周知、利用状況 ●県内企業への就職 ●カスハラ対策 ●物流問題 ●男性育休、日数、育休の質 等
総務部	●投票促進啓発 ●公契約条例の市町への波及 ●県の安定的な財政 ●未収金対策 ●キャッシュレス納税拡大 等
子ども・若者部	●子どもの権利条約、子ども基本条例(仮称) ●ものづくりの魅力伝承 ●ヤングケアラー支援 ●子どもの居場所づくり 等
文化・スポーツ部	●子どもが地域で運動・遊ぶ場所の確保・拡充 ●国スポ・障スポの施設活用、スポーツ振興 ●図書館、美術館、スポーツ施設 等
琵琶湖環境部	●MLGSの進捗状況 ●廃棄物処理資源環境対策 ●プラスチックの取り組み ●フードドライブの更なる取り組み推進 ●中小企業に対するカーボンニュートラル取り組み支援 ●CO2ネットゼロ社会作りの推進 等
健康医療福祉部	●医師の労働時間・勤務環境改善 ●労働者の健康管理 ●介護人材の確保、介護職場でのIT化推進 ●変換免除型介護福祉関係の各種貸付金制度 ●長浜市病院再編 等
土木交通部	●バス・タクシー事業者の従事者不足、人材確保 ●交通空白地帯 ●地域公共好通を支えるための税制 ●ライドシェア ●鉄軌道のバリアフリー化、整備運用に係る費用・人材の不足 ●空き家対策 ●物流問題、道路整備 等

総括協議(11月5日)

部局協議の後、11月5日(火)には三日月知事をはじめ滋賀県の各部長と総括協議を行い、連合側より滋賀県への主な意見として、以下の内容を述べました。滋賀県と認識や課題を共有する場となり、今後も滋賀県と連携を密にすることを確認しました。

<2025年度要求のポイント> 大テーマ

- 働くことに重要な価値を置いての雇用・人づくり政策の強力な推進
- セーフティネットが組み込まれている活力・魅力ある「滋賀」に向けた政策推進
- 持続可能性と包摂を基底とする「健康」「安心・安全」な滋賀づくり

○労務費の適切な価格転嫁の取り組みに向けて労務費が一体となった推進
持続的な賃上げが実現できる環境整備を推進するために労務費が連携した取組を！

○中小企業活性化施策実施計画のさらなる活用
地域の中小企業のニーズに合わせ活用される支援策を！

○県北部地域の振興における施策の着実な実施
北の近江振興プロジェクトの着実な実施を！関係市それぞれの特徴を持って取り組み、人口の創出を！

○滋賀の農業今後の姿や担い手
県主導のもとこれまでの農業従事者が抱える課題解決や次世代の農業の牽引を！

○労働人口減少への対応の観点から、外国人労働者とその家族の生活をあらゆる面で支援する施策の強力な推進
外国人移住者が住みたくなる・住みよい滋賀を求め、改定を進めている多文化共生プランの充実を！

○外国籍の子ども達の高校進学状況
外国籍の子ども達の高校進学状況を的確に把握し、誰も取り残さない支援を！

○福祉サービスの提供において外国人労働者の育成を含めた人材確保や子どもたちに仕事の魅力発信の強化
市・町でも連携強化を図るなか、全庁的に横断的な連携強化のもと取り組みを進めていくことが重要！

○カスタマーハラスメント対策への取り組み
滋賀県が先頭に立ち、カスタマーハラスメント撲滅に取り組むことの決意を！

○ライドシェア導入に対する滋賀県の考え
導入には慎重な検討が必要！既存の公共交通を活かし共存する形を！

○地域防災(自助・共助の仕組みの構築)
県民への自助共助の意識向上・浸透が重要！共助ができる仕組みの構築を県としても取り組まれたり！



男女平等意識・川柳 仕事家事 育児もシェアして 三冠王(電機連合 オムロン労働草津支部)



連合 滋賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2024年12月2日
連合滋賀 第318号
大津市松本2丁目10-6
電話077-523-0500
発行・白木 宏司
編集・相澤三千代
(定価 1部50円)
印刷 ユメディア株式会社

連合滋賀第21回定期大会 社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう ～仲間の輪を広げ 安心社会をめざす～



連合滋賀は11月8日(金)に琵琶湖ホテルにおいて、連合滋賀第21回定期大会を構成組織代表の代議員および特別代議員、連合滋賀役員、傍聴者等、約200名の参加のもと開催しました。
議長に荻野寛子氏(IP労組)、山腰透氏(JAM)の両氏を選出し全6本の議案を執行部から提起し、それぞれの議案について、可決・承認されました。

連合 芳野友子 会長
定期大会にご臨席ありがとうございました！
芳野会長と連合滋賀女性委員会との一枚



白木宏司(要旨) 連合滋賀会長挨拶

政治について

衆議院総選挙において、与党が過半数を割り、立憲民主党、国民民主党が大幅に議席を伸ばしました。裏金問題といった政治腐敗が国民の政治不信を最大化させた結果であると認識しています。そして、立憲、国民の両党が、現実的で生活者、労働者、若年層視点での政策を掲げ、有権者の有力な選択肢となり、今の政治をリセットすることに一歩近づいたのではないかと考えています。

滋賀においては、我々が支援をしていた国会議員が新党を立ち上げ、その後、日本維新の会への合流という結末を迎え、翻弄された10か月となり、結果的に滋賀1区、3区にて、組合員に選択肢を示すことが出来ず、また2区においても推薦候補者の当選を果たすことができませんでした。

滋賀において支援する国会議員がいない状況は我々にとつては、政策制度の実現への手立てを失うこととなります。この総選挙の結果を、立憲、国民両党とも総括する場面を設け、来年の参議院選挙も見据えて滋賀県の政治勢力の在り方を考えていきたいと思っています。

2025春季生活闘争

『未来づくり春闘』を掲げた取り組みは、2023年で、転換点をつくり、2024年ではステージ転換に向けた大きな一歩を踏み出しました。2025春闘では、慢性デフレに終止符を打ち、動き始めた賃金、経済、物価を安定した進行軌道に乗せ、定着させる年としています。
2025年も、労務費を含む価格転嫁が大きな議論にな

ると考えます。価格転嫁を構造的に取り込む対策と長年にわたっての過度なコストカット意識、消費者マインドをどう変えて行くかなど、政労使がしっかりと議論していく必要があります。

今年の2月に行われた滋賀県版政労使会議において共同メッセージを示しましたが、来年の政労使会議ではその共同メッセージの具現化と深堀に向けた議論を進めてまいります。また、気運醸成のための春闘集会についても、来年は形式を変えブラッシュアップした新しい試みを考えておりますので、構成員のご理解とご協力をよろしく願っています。

これからの労組運動について

連合と連合総合生活開発研究所が「労働組合の『未来』を創る」と題した報告書を公表しました。
組織率低下によって労組の存在感が低下するなか、組合コミュニケーションの刷新や組織率にとどまらない新たな目標と指針の設定などが提言されています。
この報告を参考にしながら、この一年において、今後連合滋賀の運動の在り方を考えていきたいと思っています。

多様性について

現代において、多様性、ジェンダー平等こそがイノベーションの源泉であり、多種多様な産業、職種、人材で構成される連合こそがイノベーションを生み出す大きなポテンシャルを秘めているのではないのでしょうか。
年内には連合『ジェンダー平等推進計画』フェーズ2の計画が示される予定です。フェーズ1における課題のひとつとして、トップリーダーの行動が大きな要素であると指摘されています。私も含め、各構成組織のリーダーの皆さま、ジェンダー平等の取り組み強化に、ご協力お願いいたします。

各種選挙結果

第50回衆議院議員総選挙

10月15日(火)公示10月27日(日)投開票

平尾 道雄	65,324票	惜敗
自民候補	99,347票	当選
維新候補	62,646票	



米原市長選挙

11月3日(日)告示



角田 航也	無投票	当選
-------	-----	----

滋賀県議会議員補欠選挙

(米原市選挙区)

11月1日(金)告示11月10日(日)投開票



中川 雅史	6,906票	当選
自民候補	6,106票	

連合活動アルバム



女性組合員交流会
9月28日 La COSSO
「幸せ婚活講座」と題し、健康について
学ぶとともに、女性組合員間で情報交換
を図る



青年委員会
森林保全ボランティア活動
11月9日 大津市内の山林
森林を守っていくための整備の大変さや
必要性を認識



中小労組連絡会議
第31回総会・研修会
11月16日 ライズウィル都賀山
活動方針を決定！研修会では Chat-GPT
を使用した業務効率化について学ぶ！

男女平等標語・川柳入選作品

最優秀作品

育休をとらぬ夫に、育児(いくじ)なし
自動車総連 ダイハツ労働組合

応募総数
315件

優秀作品

人を知り認め合うこと 多様性
自動車総連 ダイハツ労働組合
「ふつう」とは？「らしさ」とは？ 自分の価値感おしつけなくて
全労金 近畿労働金庫労働組合

佳作などの作品はこちらから



新任挨拶

専任副会長(自治労)

佐賀 春樹

このたび、連合滋賀第21回定期大会におきまして専任副会長を拝命いたしました。連合滋賀という歴史ある団体の専任役員として、少し背伸びをしながら地に足を付けて頑張っております。出身産別は自治労(出身単組は守山市労連)です。これまでの労働組合の運動とは異なり、幅広く奥深い

連合運動に専任して携われることに、気持ちは心機一転！初心に立ち返って運動に邁進していきたいと思っています。

労働者を取り巻く環境をより良いものにする「力」を持っているのは、労働組合しかありません。その力を示す団結力を連合滋賀の活動の中で高めてまいりたいと思っています。

本大会でのスローガンでもありますように、「社会を新たなステージへ、ともに歩もう・ともに変えよう」を私の活動スローガンにして、連合滋賀に結集されている皆さんとともに、責任を果たしてまいります。皆様のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひし、就任のあいさつとさせていただきます。



退任挨拶

前事務局長(UAゼンセン)

池内 正博

連合滋賀第21回定期大会をもって専任役員を退任させていただきました。これまでの間連合滋賀に集う構成組織、地域協議会、加盟組合、連合滋賀議員団、滋賀退職者連合、連合滋賀の役職員の皆様をはじめ多くの方々のお力添えで活動をさせていただき感謝と御礼を申し上げます。

連合滋賀とは、90年官民統一した現連合滋賀の結成後に組織された青年委員会の初代青年委員長が始まりで、その後1998年に副事務局長6年(専任)務めた後は産別運動に関わり、2010年に滋賀に戻り連合滋賀執行委員6年、副会長3年、事務局長5年とこれまで合わせて22年間に亘り連合の活動に従事させていただきました。連合運動を通じて多くの貴重な経験を積ませていただき、ご指導賜りましたことに改めて感謝を申し上げます。今後は新たなステージで活動をさせていただきます。引き続きのご支援・ご協力をお願いしご挨拶とさせていただきます。



新任挨拶

事務局長(JAM)

相澤 三千代

連合滋賀第21回定期大会において、この度、副事務局長から事務局長へ就任いたしました。歴史あるこの連合滋賀で、初の女性事務局長を拝命することについて、大きな使命感と責任の重大さに身の引き締まる思いです。

池内前事務局長のスーパーマンのような働きには遠く及ばないですが、「対話」こそがウェルビーイングを実現する鍵と信じ、皆様とともに対話を深め、課題を共有し、一歩ずつ確実に労働運動の更なる前進に向けて、共に進む道を照らす一助になればと思います。

また、社会はかつてない多様性と変化に直面しています。「すべてにジェンダー平等の視点を！」をポリシーとして、時代の変化に適応し、労働組合組織全体の価値観や取り組みを次のステージへと引き上げていけるよう精一杯取り組んでまいります。

引き続き、皆様のご指導ならび力強いご支援・ご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



退任挨拶

前副事務局長(JAM) 前第3区地域協議会事務局長

小栗 博明

この度、連合滋賀第21回定期大会にて退任することになりました。わたくしは、3年間の短い間でありましたが、連合滋賀の副事務局長として多くの組合役員の方々とお会いすることで人とのつながりの大切さを再確認させていただきました。

また、第3区地域協議会の事務局長として地域の組合役員をはじめ組合員、連合議員の皆さんとともにいろいろな行事を開催させていただきました。組合員さんの声を行政に届けられることが、実感できる時間を過ごせました。

これからは、皆さんに協力できるように過ごしたいと思ひます。携わった方々に感謝を申し上げるとともに、今後のご活躍をお祈り申し上げます。



新任挨拶

副事務局長(自動車総連) 第3区地域協議会事務局長

吉村 蔵志

第21回定期大会において副事務局長を仰せつかりました、自動車総連、ダイハツ労組出身の吉村蔵志です。

定期大会で確認されました、活動方針を地協の皆様と共に、進めて参ります。コロナの後、働き方、労働組合のあり方など様々な事が大きく変わって来ております。

この様な時こそ人に寄り添った活動が求められるのではないのでしょうか。

今回の大会スローガン「社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう」～仲間の輪を広げ 安心社会をめざす～を頭に置き、組織強化・拡大、政策制度、文化福祉、中小支援等、皆様のご理解、ご協力を得ながら、様々な活動を進めて参ります。何卒、皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願ひいたします。